

東京知道会平成 23 年第 2 回幹事会

1. 日時 平成 23 年 4 月 20 日 18 : 30

2. 場所 西日暮里事務所

3. 議題

- (1) 平成 23 年度総会「同窓の集い」担当学年(57 年卒)からの報告及び総括
- (2) 常置委員会の委員長、副委員長の承認(常任幹事会)
- (3) 各委員会(企画、組織、財務、会報)からの報告
- (4) ふるさと応援募金の現状と今後について
- (5) その他

4. 参加者 24 名

丹佐迦生(35) 海老根宏(36) 羽持良三(37) 小貫裕文(40) 佐渡本真理子(41)
助川裕(42) 菅井英夫(42) 荻野孝野(42) 植村滋(43) 谷田海孝男(46)
江幡秀則(47) 門馬俊光(47) 笹島正(54) 三ツ石浩(55) 保坂賢司(55)
石井健司(56) 坂下力(56) 小瀧明代(56) 鈴木和彦(57) 小澤光浩(57)
大塚千裕(58) 鈴木正啓(58) 面澤惇市(58) 浅野茂生(59)

5. 議事内容

(1) 平成 23 年度総会「同窓の集い」担当学年(57 年卒)からの報告及び総括

①出席者 総計 256 名(来賓 9 名、恩師 3 名、一般 243 名…S57 年卒 73 名、58 年卒 5 名)

②会計報告 総会収入総合計 ¥2,979,500

支出総合計 ¥2,315,159

収支 ¥664,341

多数の方のご寄付・広告掲載に感謝、物品販売も完売。

③総括

多くの方々のご支援の下、無事責任を果たすことができました。改めて御礼申し上げます。今後は 58 年卒に幹事業務を引継ぎを行い、サポートしてまいります。

(2) 常置委員会の委員長、副委員長の承認(常任幹事会)

新任

名誉副会長 小岩井忠道(S39)、顧問 高橋幸子(S29)、参与 植村滋(S43)

会報委員長 保坂賢司(S55)、副委員長 野村久美子(S54)・雨澤令子(S52)

組織委員長 石井健司(S56)、副委員長 坂下力(S56)

財務委員長 三ツ石浩(S55)、副委員長 柏村博文(S46)

企画委員長 笹嶋正 (S54)、副委員長 小久保優 (S52)

以上 承認

(3) 各委員会(企画、組織、財務、会報)からの報告

①企画委員会

活動計画(案)

今年は、被災した郷土茨城の応援をテーマにしたい

1 グルメの会(6月中旬～下旬)

例年通り、48年萩谷さんに企画立案を依頼中

意見

- ・企画を早急に立案し、募集を始めなければならない

2 夏休みの企画(8月下旬)

バスをチャーターして、茨城の被災地の復興状況を見学、応援する。

(例:おさかな市場、茨城空港、納豆工場、笠間焼、母校など)

各意見

- ・被災した地元を応援するというテーマには賛成である。
- ・子供たちを対象にするのなら、近場の方が良い。
- ・バス旅行で地元に行くには、お盆の帰省の時期と近いので適当でない。
- ・一高の先輩が社長をしている東京モノレールの見学会という案もある。
- ・バス旅行として行うにはマンパワーが必要となるので時期を選んだ方が良い。例えば秋の歩く会とドッキングしてもよいのではないか。

※7月発行の次回会報(5月末原稿締め切り)に記事を掲載し、参加者の募集を行う予定となっているので、早急に企画を詰める必要がある。

3 秋の歩く会(10月下旬)

今年は筑波山にしたい。

登山コースが閉鎖中なので、復旧状況も踏まえて周辺のハイキングコースも検討に入りたい。

意見

- ・今年の「同窓の集い」のしおりの最後に10月29日(土)実施と印刷されているので日にちは、変えないほうがよい。

4 春の花見(3月下旬～4月上旬)

今年は中止になったが、開花には早かった感があるので、来年も同じ場所で開催する場

合には時期を遅らせる必要あり。

特別企画として、来年のみ「偕楽園観梅」という形の花見も検討の余地あり。

※夏休みの企画については、7月発行の次回会報（5月末原稿締め切り）に記事を掲載し、参加者の募集を行う予定となっている。グルメの会とあわせて、早急に企画を詰める必要がある。

<その他>

費用について

今年は茨城県人会からの補助（昨年4万円）は遠慮せざるをえないのではないか。

バス旅行を実施する際には当日不参加者などにより、独立採算が維持できなくなるおそれがある。企画の実施時期は、行き先との調整等の都合により例年通りとならない可能性がある。会報の発行時期も考慮に入れながら、募集方法も工夫する必要がある。

②組織委員会

新名簿管理システム

・場所を選ばない（事務所以外のPCでも作業可能）、効率的（各種条件抽出しての宛名出し、柔軟なメッセージ出しなど）な機能を備えたシステムを56年卒小瀧さんが構築中

- ・次号会報のメール送信（7月末）に向けGW明けにテスト・ランの予定
- ・GW中にインプット作業を終了させる予定…石井さん、坂下さん
- ・小瀧さん「来月には内容説明できるように作業中」

谷田海幹事長「各委員長は忌憚なき意見を」

③財務委員会

会費の6/27の第1回引き落としに向け、銀行（3大銀行+常陽の4行）口座振替の手続き準備中（振込データの入力、銀行側での印鑑確認など）。

依頼書の送付者は現在173名

- ・財務委員会でも新システムを使う。個人データの取り込みに向け準備中

谷田海幹事長から…当初の口座振替希望者300名のうち、落ちている125名のフォローを財務委員会にお願いしたい（5月半ばまで）

④会報委員会

第71号（発送7月20日頃、原稿締切5月末）

ページ（P）割り案

- 1 P 震災関連、新会長挨拶
- 2 P 震災関連（早川校長、ふるさと応援募金）
- 3 P 募金協力者氏名

- 4 P 同窓の集い、22 年度決算書
- 5 P 同窓の集い（記念講演要旨）
- 6 P 同窓の集い（S57 年卒幹事）
- 7 P 同窓の集い（S57 年卒幹事、S58 年卒幹事）
- 8 P 先輩訪問（S42 年卒 鈴木元氏）、東京知道会組織図
- 9～10 P 同窓生（S25 年卒 川原博行氏＝卒業後 60 年の還暦同窓会）
- 11 P あの人の人（S55 年卒 檜原弘樹氏）
新任常置委員長紹介（笹島企画委員長）
- 12 P お知らせ
HP リニューアル 組織委員長
今年の企画案内（夏休みイベント、秋の歩く会、ゴルフ）

※前回報告からの主な変更点

- ・震災関連を追加
- ・「同窓の集い」のスペース圧縮
- ・次号送り…「あの人の人」「野球部史関連」

その他

- ・退任役員の挨拶、顔写真を入れる
- ・募金の金額は入れない

(4) ふるさと応援募金の現状と今後について

現在 260 名で 404 万円。

既にハガキでお願いしている 35 年卒までが多いが、これから発送する 36 年卒以降も増えてくるものと期待している。

募金のうち県災害本部に出した 100 万円を超えた分は母校支援に回る。4 月 23 日に水戸の知道会幹事会があるので、早川校長と母校の支援内容を早急に詰める予定

(5) その他

今回は 6 月 15 日（水）、西日暮里の事務所で開催

以上